



<VOL170.2022.2>

もりおかクラブ事務所：〒020-0021 盛岡市中央通3-7-18 ラ・パルク中央 1階 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

今月の聖句 エレミヤ書 29章11節より



「主は言われる、私があなた方に対して抱いている計画は私が知っている。それは災いを与えようとするというのではなく、平安を与えようとするものであり、あなた方の将来を与え、希望を与えようとするものである。」

「主題」

「世界とともにワイズメン」
「100年を越えて変革しよう」
「変化をたのしもう！」
「変化を楽しみながら新生北東部を創ろう！」
「再起動、新生もりおかクラブ」

国際会長 サム・サンテ (韓国)
アジア太平洋地域会長 大野 勉 (神戸ポート)
東日本区理事 大久保 知宏 (宇都宮)
北東部長 南澤 一右
(仙台青葉城)
もりおか クラブ会長 長岡 正彦

会長 長岡 正彦
副会長 山口 貴伸
書記 濱塚 有史
会計 大関 靖二
担当主事 宮澤 秋彦 (シュリンプ)
メネット 井上 優子

令和4年3例会
日時、場所
オミクロン株拡大により岩手県非常事態発令中。
開催を中止します。

会長巻頭挨拶



長岡会長

みなさまこんにちは、いったいいつまで続く新型コロナ。2月の例会中止に続き3月も中止せざる負えない状況です。この間に盛岡の感染者が388人に激増してしまいました。身近にどんどん迫ってきている実感があります。盛岡YMCAのウェルネス事業も中止のまま、2か月が経ちました職場でも濃厚接触者で休む

職員ができました。いつ感染してもおかしくない状況になってしまいました。

世界中がオミクロンと戦っている中、ロシアがウクライナに侵攻を初め戦争になってしまいそうな状況です。ウクライナが反撃を初めていないので、ロシアが一方的に攻め込んでいるのですがウクライナ人がゲリラでロシア軍に対抗を始めれば、過去の戦争の歴史の通りウクライナの勝ちになりロシアは撤退せざるおえません。ベトナムでもそうでした。組織の軍隊はゲリラには勝

てません。怖いのは負けたロシアが核兵器を使う事です。さすがに核兵器は使用した段階で世界中から総攻撃を受けてロシアが無くなる事態になるかもしれません。一般人ロシアの人々の苦しみを考えると、胸が苦しくなります。現在はウクライナの人々が苦しんでいます。21世紀にまた戦争が始まるとは思っても居ませんでした。一刻も早く終息する事を願います。

もりおかクラブの時期会長ですが、予定していた山口メンが母さまの介護で時間を制約されるとの事で、急遽三田メンが再登板する事になりました。三田メンすみませんがよろしく願います。長岡は会長職終わりの後のお決まりコースで、北東部のユース事業に就きます。北東部の活動も制限されて事実上停止状態ですが、コロナの終息を願ってやるべき事はやろうと思っています。皆様よろしく願います。

2月新年例会のご報告

2月の定例会はお休みでした。3月も引き続きお休みです。早く正常な活動が出来ればいいですね。

2月のハッピーバースデー 2/10 加藤 淳メン、お誕生日おめでとうございます。

岩淵麗羅のトリプルアンダーフリップ

北京オリンピックが閉幕しました。岩手出身の小林陵侑は金、銀メダル、永井秀昭は銅メダル。アルペールビルの三ヶ田礼一の金メダルに続き3個のメダルを獲得しました。

スノーボード女子ビッグエアに出場した岩淵麗羅は4位入賞でメダルには届きませんでした。3回目に飛んだトリプルアンダーフリップはいまだかつて女子では誰も飛んでいない超大技でした。金メダル狙いの挑戦をしました。惜しくも尻もちをついてがっかり



した様子の麗羅でしたが、ランディングゾーンでヘルメットを脱いだ瞬間思いもよらぬ光景が展開しました。各国の飛び終えた選手が麗羅に駆け寄り思いっきりハグしてトリプルアンダーフリップへの挑戦を讃えてくれたのです。大柄の選手たちに囲まれた麗羅は見えなくなりましたが、中心には間違いなく麗羅がいたのです。なんとと言う光景でしょう。ライバルたちはこの大技の意義を賞賛してくれたのです。これぞスポーツマンシップ。これがオリンピック。私は胸が詰まり、目頭が熱くなっていました。残念な結果も金メダルに相当する素晴らしい光景を見せてくれました。ありがとう、岩淵麗羅。

民主主義ってなんだっけ？から憲法について復讐

弁護士 畠山将樹さん

2月2日盛岡 YMCA 人権セミナーからの抜粋

大切なのは、民主主義の精神を掴むことである。なぜならば、民主主義の根本は、精神的な態度にほかならないからである。それでは民主主義の根本精神はなんであろうか、それは「人間の尊重ということにほかならない。」

旧文部省著作教科書{民主主義}。戦後直ぐにこれだけの内容の本が教科書になっていたことへの衝撃。平易で読みやすいけれども格調高い文章である、この本に民主主義についての全てが詰まっていると思う。子供達を戦争に送り込んだ、幾多の犠牲を生んでしまった、そのことへの強烈な反省から書かれたであろうこの教科書。

「すべての人間を個人として尊厳な価値を持つものとして取り扱おうとする心、それが民主主義の根本精神である。」

「民主主義の根本は、精神的な態度にほかならない、それでは民主主義の根本精神はなんであろうか、それは、つまり、人間の尊重ということにほかならない。」この教科書に繰り返し出てくる「人間の尊重」、なぜ、民主主義を学ぶ際にこのような事から始まるのでしょうか。日本国憲法について理解を深めることで答えが出てきます。

憲法とはなにか。権力を縛るためのもの。国家権力を制限し、国民の基本的人権を守るためにつくられたもの。国民の権利、自由を守るために、国がやってはいけない事(またはやるべきこと)について国民が定めた最高法規。(人権を制限する主体は、国家権力、そして、権力は暴走する。繰り返された歴史から明らか。)

憲法とは。 基本的人権の尊重、国民主義(民主主義)、平和

編集後記

2月26日、午後2時20分、活動が無かった2月のブリテンの編集が終わろうとしています。この冬、初めて雨がふりだしました。屋根から雨だれががたがたしています。氷をベースにして溜まっていた屋根の雪が落ちるでしょう。

主義。なぜ、3つの基本原則が大事なのか。憲法を考えるとときに忘れてはいけないこと、憲法が最も重視していること、「個人の尊重」(憲法13条)、一人一人の個性を尊重し、かけがえのない人間として扱う。個人の自由と人権を保障することは、個人の尊重のために必要不可欠です。基本的人権の尊重は「個人の尊重」から導かれる。

憲法とは、個人主権も「個人の尊重」に由来する。個人一人一人の意見を尊重するためには、議論して決める。国家に対する意見表明の権利は民主主義(国民主義)。健保は、個人を尊重するために統治機構において民主主義の思想の現れである国民主権を採用。平和主義も「個人の尊重」のための理念。個人が真に自由な意見を持ち自由に行動するためには、他社の威嚇があってはならない。国の武力威嚇も同じ。戦争によって最も苦しむのは一般市民(命、悲しみ、恐怖、飢え)。人間の尊厳を確保し、個人を尊重するために、憲法は掲げた理念が平和主義。「個人の尊重」のために最も重要なのは人権保障。人権保障が目的。達成のための手段が、民主主義、平和主義

「民主主義」という教科書に繰り返し出てくる「人間の尊重」。なぜ民主主義を学ぶ際にそんなことから始まるのか。「人間の尊重」こそが憲法が最も重視していること。個人の尊重をするために最も重要なのは人権保障。その人権保障を目的とし。達成のための手段が、民主主義、平和主義。そういう仕組みであるからこそ、民主主義について学ぶには、まずもって、最も重視すべき個人、人間の尊重という基本精神を掴め、と言っているもの。

憲法とは、権力を縛るためのもの。国家権力を制限し、国民の基本的人権を守るためにつくられたもの。憲法が最も重視している事は、「個人の尊重」。である。

春の足音が聞こえてきました。冬将軍の撤退もまじかです。この雨にのって、ロシア軍もウクライナから撤退すればいいのですが。共産主義の独裁政治の怖さをまじまじと感じています。北朝鮮も怖い国の一つです。日本の若者よ、力を示せ、声を上げろかつての安保闘争のように。